

くらしと景気を良くする

私の処方せん

<追加> 東三河政策



2011年1月14日

とい敏彦

(1) 耐震改修工事を受けやすくし、建築・建設関係の仕事を増やします。

東三河は大地震の危険が指摘されています。しかし現在の耐震改修工事では補助基準が厳しく(耐震強度を+0.3で結果1.0以上に)、200万円~300万円もかかるためあまりひろがっていません。今回提案する住宅リフォーム補助制度では寝室だけなど住宅の一部改修でも助成します。

地元のいろんな業種の中小企業に参加を呼びかけ、耐震改修工事コンペを開催します。簡易シェルター、鉄骨を入れたフスマを固定するなどさまざまな耐震補強のアイデアを募集して助成対象とします。

(2) 蒲郡、新城市民病院など地域の病院を守ります。

新城市民病院は三河山間部の住民が住み続けるためには絶対欠かせない病院です。蒲郡市民病院もこの地域でお産ができる数少ない病院です。病院の存続のため、あらゆる手をつくします。豊橋、豊川市など地域医療機関が連携して地域医療を守ります。

(3) 地元農産物の安定消費を支援します。農林水産業と商工業との出会い、コラボレーションの場をつくり新しい製品アイデアを開発します。

農業を安定させるためには、安定的な消費を拡大することが重要です。学校給食でメニューの交流をすすめ、地元の安全な農産物の利用を大幅に増やします。

東三河はキャベツや大根などの大産地ですが、豊作時には価格が暴落します。また施設園芸も活発ですが台風・竜巻など自然災害による被害も続いています。農家への最低価格保障を行うとともに地元の食品産業と共同で加工保存を行うなどして豊作貧乏にならないよう対応します。災害補償を行うとともに地元企業の技術を借りて災害につよい施設づくりを進めます。

また山林では間伐材を降ろすコストがかかり、活用のネックになっています。山中に大きな道路をつくるのでは大災害を引き起こしてしまいます。間伐材の山おろしにも新しい技術が必要です。

林業・農業・水産業と商工業の出会いの場を増やしてあらたな製品、産業育成を行います。

(4) TPPと設楽ダムの建設反対。自然環境を守って防災事業を行います。

東三河には漬物・練り製品、乳製品などの食品産業や関連器具の産業など農林水産業と密接な産業がたくさんあります。TPPの被害は農林水産業に限りません。山・川・海の自然環境をまもり農業、水産業を守るためTPPに反対します。

六条潟のアサリを壊滅させるおそれのある設楽ダムをやめ、橋・堤防の補修工事や住宅への被害を防ぐ工事を地元の建設業者に直接発注します。

(5) 農協、中小企業など地元の声を聴いて、東三河総合計画を作成します。

東三河の豊富な自然資源と地元の技術力を総合的に発揮するため農協、中小企業も参加して地域総合計画を作成します。さまざまな分野から意見を出してもらえよう、各部門の情報を積極的に公開し、県としても商工、農林水産、環境関係部門の連携を強めます。